

大川原

ライフ LIFE®

2020年3月

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町ふるさと未来会議 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

こんにちは🐝今回紹介するのは大川原で昨年夏にオープンしたいちご栽培施設「ネクサスファームおおくま」最新のシステムのもと通年でいちごを育て出荷するこの施設。絶賛パート募集中とのことなのでどのような仕事なのかを特別に体験させていただきました🍓伺った日はちょうどいちごの直売日。毎月15日と末日に販売するとのことなので入口には箱詰めされたいちごがずらり🍓お客さんの中には何箱も購入するかたも!



作業の説明を受けています
ハウスの中は30℃ほど🌞
いちごの生育に適した温度と
湿度を保っています!

大熊町の
新たな名産へ

大川原で いちご栽培

ハウス内はいちごの
甘酸っぱい香りの傷ものは
出荷できないので慎重に!



今回私たちが
収穫したいちご
です🍓

体験の前にはまずは1時間ほど座学研修📖仕事内容や衛生ルールなどを学んだ後いよいよいちごの収穫作業へ! 食べ頃のものを見極めながらいねいに摘んでいきます。コツを掴めば誰でも作業可能なので経験のないかたでも心配いりません。1日の作業ルーティンとしては収穫、選果、苗の手入れ。いちごはすぐに熟するため毎日行う必要があります。「カ仕事」「重労働」「天候に左右される」といったことのない新しい農業。雇用の受け皿としても期待されます。



今回、「仕事を体験したい!」という私たちに受け入れてくれた市村英雄さん。
ネクサスファームでの仕事をきっかけに、町に住民票を移した移住者でもあります。
大川原の生活について聞いてみました。

収穫したいちご🍓の選果のポイントを教えてくれる市村さん。

🍓 どうして大熊町に？

ハローワークで植物工場立ち上げの求人を見つけました。植物工場を一からスタートできるなんて全国的にもそんなない。
実は原発事故後の町の状況はほとんど知らず、心算してから戻りましたか、
そういう町で最先端の新しい農業が始まることがおもしろいと思いました。

🍓 出身は？

千葉県です。
大学で農業関係の勉強をし、大熊町の前は中通りの果樹園で働いていました。

市村英雄さん



🍓 大川原の生活は？

スーパーとかないし、近くにコンビニはあるけど営業時間は短い。大変なことあるけど、大熊に限らず、双葉郡は今、新しく町を立ち上げようとしているところ。新しくできていく店を探すのが楽しいです。
最近は大川原でうどん屋を見つけましたよ。あ、車は必須だと思います。



パートさん 随時
募集中です

ネクサスファームでは、私たちが体験した収穫や苗の手入れを含め、一緒にいちごをつくるパートさんを募集しています。
初心者もきっと丁寧に仕事を教えてもらえます！ 問い合わせは

0240-23-7671 / 090-2275-4115

